

2/3,BA/1
DIALOG(R)File 351:DERWENT WPI
(c)1998 Derwent Info Ltd. All rts. reserv.

001383678

WPI Acc No: 75-33354W/197520

Bag for water-contg. substances prevents discolouration - and
putrefaction, contg. xylylenediamine copolymer

Patent Assignee: TOYO SPINNING CO LTD (TOYOKO)

Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

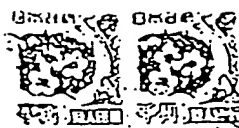
Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Main IFC	Week
JP 75010196 B		19750418					197520 B

Priority Applications (No Type Date): JP 70127130 A 19701226

Abstract (Basic): JP 75010196 B

A bag for water contg. substances e.g. food, is made from a complex film formed by attaching a film of 5-100 g/m². 40 degrees C. 90% RH of steam permeation to a face of a biaxially stretched film of >0.015 of the plane orientation index and <0.045 of the deg. of balance obtd. from a polymer contg. >=70 mol% of structural units of m-xylylenediamine opt. with <30% of p-xylylenediamine and t-10C alpha, omega-aliphatic dicarboxylic acid, forming a bag from the complex film by using the face of the film of 5-100 g/m². 40 degrees C. 90% RH made from the other polymer as the inner face and sealing a substance contg. >30% water in the bag.



① 日本国特許庁

公開特許公報

① 特開昭 50 10196

③ 公開日 昭50.(1975) 2. 1

② 特願昭 48 58339

② 出願日 昭48.(1973) 5. 23

審在請求 有 (全4頁)

庁内整理番号 ⑤ 日本分館

2107 25 115 D12

特 許 公 報 三 号 大 正

1. 発明の名称 便貨径の通別装置

2. 発明者

住 所 大阪府東大阪市大万町三丁目三番三番
氏 名 杉 田 貴 士

3. 発明者代理人

大阪府東大阪市大万町三丁目三番三番
大 和 興 工 機 械 有 限 公 司
代 理 人 金 沢 良 雄

4. 代理人

住 所 大阪府東大阪市大万町三丁目三番三番
氏 名 安 田 昌 雄

5. 発明の要旨

- | | |
|-----------|-----|
| (1) 組 成 部 | 1 部 |
| (2) 組 成 部 | 1 部 |
| (3) 組 成 部 | 1 部 |
| (4) 組 成 部 | 1 部 |
| (5) 組 成 部 | 1 部 |

明 示 書

1. 発明の名称 便貨径の通別装置

2. 特許請求の範囲

1. 便貨通路の中途を正貨排出路と不正貨排出路に分歧し、その便貨通路と正貨排出路を屈曲状に連通する屈曲部近傍位置に、先端に便貨受部を、後端にバランサーを天々有するクレードルの中途部を揺動自在に軸支し、揺動時に付ける平常時のクレードルの便貨受部と屈曲部の内側面一側部との間隔を便貨径よりもわずかに小さくし、かつ、クレードルが揺動して正貨排出路の口近傍位置まで回移したときにおける便貨受部と屈曲部の内側面一側部との間隔が便貨径よりもわずかに大きくなるよう屈曲部の内側面をうすまき曲面的に形成したものであって、前記クレードルを、この便貨受部が揺動により、便貨通路の一端より他端に向け斜交状に軌跡運動するように設けしてなるを特徴とする便貨径の通別装置。

3. 発明の利便の表明

この発明は便貨通路の途中にクレードルを備え、そのクレードルによつて便貨径の大小を数分けて選別する、いわゆるクレードル方式の選別装置の改良に係る。

従来、クレードル方式の選別装置としては、第1、2図に示すものがある。この装置は、便貨通路(1)の中途を正貨排出路(1a)と不正貨排出路(1b)に分歧し、便貨通路(1)と正貨排出路(1a)とを屈曲状に連通する屈曲部(2)の近傍位置に、先端に便貨受部(3a)を後端にバランサー(4)をそれぞれ有するクレードル(3)の中途部を揺動自在にピン(5)で軸支し、揺動時に付ける平常時のクレードル(3)の便貨受部(3a)とこれに正対する屈曲部(2)の内側面(2a)一側部との間隔(8a)を便貨の所定径よりもわずかに小さくし、かつ、そのクレードル(3)が揺動して正貨排出路(1a)の口近傍位置まで回移したときの便貨受部(3a)とこれに正対する屈曲部(2)の内側面(2a)一側部との間隔(8a)を便貨の所定径よりもわずかに大きくなるように屈曲部(2)の内側面(2a)をうすまき曲面的に形成したものである。

今、正貨振出額をゼロにしてくる正貨収支(4)が第1図の如く示すようにこの場合一部を正貨(2)のうすまゝ内出(2a)のうちに含めると共にクレードル(3)の正貨受配(3a)上でのりかかると、この正貨(4)の取手及び送金により、そのクレードル(3)は正貨(4)を格納する状態に転変し(3b)部を支配して正貨振出額(1a)の方へ格納し、正貨受配(2a)が大体、人並み程度に落ちる即ちその正貨(4)は格納の勢いにより正貨振出額(1a)に吸ひ込むのである。即ち、人並み程度に落ちては正貨受配(3a)と正貨(2)のうすまゝ内出(2a)との差は正貨収支(4)が過りや不足の差となつてゐるため正貨(4)は格納の勢いからして正貨振出額(1a)へスムーズに吸ひ込むのである。

しかし、正貨は實同よりも逐次の増減に依り、不正貨(1)は、フレードル(3)にのつて正貨群出格(1・2)の口金の近接を要するにまで至ても、この位置に於ける正貨受給(3・4)と組田田(2)のつすまを内割面(2・3)との間につかえてバランスを崩し、下方の不正貨は正貨(1)の力へ露下するものである。

(図4中Ⅰで示す)して、受電波(2a)による受電の受付状態を、指針角度全域にわたつて常時維持しているためであることが判明した。

この発明は上記の如き、逆大出賃の店り振取を防止するたむにせられたものであり、この特徴とする處は、出賃道路に對し半行運動する出賃受取をもつ上記従来のクレードルに代えて、クレードルの出賃受取を出賃道路に對し斜交運動するようになする即ち、クレードルの揺動により出賃受取が出賃道路の一侧より他側に同方向斜交狀に軌跡運動をするようにした點にある。

上記様式によると、当初、使貨の上面下部を交えていた使貨交換板、クレードルの傾斜と共にその使貨上面下部から徐々に外されて行き、そして傾斜の使貨持ち上げを促す丁座板では、使貨交換板が使貨上面下部より完全に外れてその使貨下面の不正使貨出荷の方へ落下させることができるというものである。

以下、例として図に示す具体的な事例を用いて、 α の値を決定する。

また正規性(4)よりも強小の同位体を示す不正規性(5)は、低分子の正規性(1)のフレードル因の補正(2)とつぎを相乗(2')との和とを定めて下方の不正規性(3)を定めてゐるのである。

このように、従来のフレードル通算装置においては、正誤使用回数の違ひも計られてはゐない。従つて、誤用回数(C1)(C2)は不正誤として取り分けられるのであるが、正誤使用の違ひもよくわすれてはたまた不正誤は取り分け途中でフレードル(3)の活動を停止してしまふ、いかなる使用の取り違ひをばかすのである。

即ち、第1図例に示すようにクレードル(1)が正
 規品(1a)の口まで移動したとき、送貨受取(3a)
 と品出し(1)のうすきは内側面(2a)との間隙で導し
 めるをもつて正規品(1)よりやや大きな変位(3b)
 に、その位置でクレードル(1)と共に動きを停めて
 しようという不都合を起すのである。

上記のようは使(一)の通り従来の方法を適用
して来た結果、フレードル(四)の提案(五)が著
2段に示すような差違(三)に対して本行な改良(四)

のパートナー(7)を有するクレードルであつて、このクレードル(6)自体の構造は上記従来のものと全く同じであるが、この給受方式が異なる。即ち、このクレードル(6)の中途部は上記受貨通路(1)の中部(2)近傍位置に突出した蛇(8)に対し斜交状に支持されて、これが揺動すると受貨受印(6a)が受貨通路(1)に対し斜交状に軌道運動(第4図中Yで示す)するように取付けられたものである。

この装置において、今、正貨(C)よりもわずかに
恒大の不正貨(C*) (即ち、正貨排出額(1a)の口印
近傍位置であるAをA付近にまで移つたとき)の正
貨受取(6a)と屈曲部(2)のうすまゝ内側面(2a)との
四角と丁度よい状態をもつ正貨(C*)は、当初、
正貨受取(6a)に支持されてフレードル(6)により信
封されるのであるが、その正貨受取(6a)は上述の
ように正貨受取(11)に押し出されて行くため、当初
支持していた正貨(C*)の屈曲下部より徐々に外れ
て行き、そしてAをA付近にまで来たときには正
貨(C*)より完全に取られてその正貨(C*)は下方の
不正貨排出額(1b)の口へ入るものである(4)。

図(4)(b)参照)。

正貨(1)の発生に依りても、クレードル(16)のせられて入るに依りてると、受貨受部(6a)による支持を絶つけれども、入るに依りてするす明(即ち、受貨受部(6a)が受貨(1)の上面とをわずかに支持している状態)では、受貨受部(5a)と屈曲部(2)のうすさゝと内側面(2a)との間隔がこの正貨(1)のせりもわずかに太いのであつて、その間にある正貨(1)の上面ととうすさゝと内側面(2a)にわずかな間隔を有してゐる状態にあるため、そのとき正貨(1)はクレードル(16)の揺動勢に依りて正貨排出路(1a)の方へ振り落すのである。

ところが、上記のようなやゝ太い不正貨(1c)は、入るに依りてするす明では第3図(4)で示す如く受貨受部(6a)とうすさゝと内側面(2a)との間に隙間を全くつくることなく丁度、はまり込んでいるから、未だ完全にはまり込んでいない第3図で示す状態であるため、上記正貨(1)のようクレードル(16)の揺動勢に依りて正貨排出路(1a)の方へは振り落とされず、其下の不正貨排出路(1b)の方へ目

を落下するのである。

また正貨(1)よりも明らかに太い不正貨(1c)は最小の振り分け通過幅ありては、上記受貨のクレードルによる場合と同じくして選別される。

次に、第3、4図中(4)は受貨(1)の受貨受部(6)の揺動を揺動する揺動部(16)であり、これによれば正貨と全く同一径にして受貨受部のない不正貨を選別することが出来るのである。

すなわち、この選別部(16)は上記クレードル(16)の揺動に連動してその先端にスプリング部を介し偏えられた引張部(9a)が受貨受部(11)の一端と重なり受貨受部(11)内へ徐々に突出して行く状態(第4図中、2で示す)するようになされてゐる。今、クレードル(16)が受貨をのせて揺動すると、当該選別部(16)も同じように揺動して引張部(9a)を当該(11)内へ徐々に突出して行き、そしてクレードル(16)の受貨受部(6a)と受貨(1)の上面との下部の支持を絶えるす明から、引張部(9a)が第3図で示すようにその受貨(1)の受貨受部(6)の底面と一致、わずかに引張られてクレードル(16)の揺動勢に依り

引張部を解脱して正貨排出路(1a)の方へ振り込むのである。

従つて、達が正貨と同じでも、突觸線のない第3図に示すような不正貨(1c)は上記引張作用が果されないので、クレードル(16)の受貨受部(6a)による支持の止絶えと同時に下方の不正貨排出路(1b)の方へ落下するのである。

この発明によれば、上記のようにクレードルを受貨受部に対し揺動するようになすだけの簡単な構造によつて、従来のクレードル方式にみられたやゝ太い不正貨の送り漏れは完全に防止することが出来るという高精度の振り分け選別を行ない得るからである。

4. 図面の簡単な説明

第1図は従来のクレードル方式による選別装置の正面断面図、第2図は同断面図、第3図は不正貨の選別装置の正面断面図、第4図は第3図に依りて示す断面図、第5図は不正貨の選別装置による不正貨の選別状態を示す正面断面図及び側面図、第6図は同装置による不正貨の選別状態を示す正面断面図

断面図、第7、8図は不正貨の選別による不正貨及び不正貨の選別状態を示す断面図である。

(1)…受貨受部、(1a)…正貨排出路、(1b)…不正貨排出路、(2)…屈曲部、(2a)…屈曲部(2)のうすさゝと内側面、(3)…クレードル、(6a)…受貨受部、(16)…揺動部。

特許出願人 大和精工株式会社
代理人 弁理士 矢田 敏一

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**